

新庁舎建設基本設計が完了

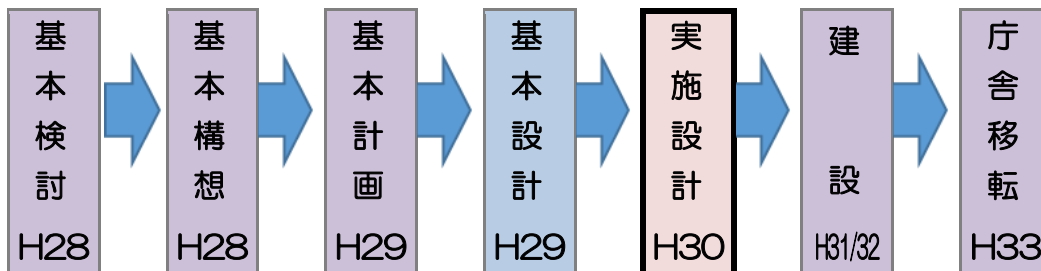
6月4日の第16回新庁舎建設検討本部会議において「新庁舎建設基本設計書」の最終確認を行いました。基本設計書では、建物の位置・向き、間取り、構造、設備の位置・種類や外観の方向性など、新庁舎の大枠について記載しています。（基本設計書の概要版は本庁舎・やすらぎ園・イコーゼ！・4地区公民館に設置している他、町ウェブサイトで公開しています。また、概要について、広報こおり7月号に掲載予定です。）

基本設計では、基本構想時の町民アンケート・意見募集、基本計画時の町民説明会・パブリックコメント、4月の町民説明会を受け、プロポーザル方式により選定した基本設計事業者とともに、「新庁舎建設基本計画」の基本方針・6つの理念等の具体化を進めてきました。検討の中では、合併しない自立の町にふさわしい庁舎を意識し、本体建設費用を数億円削減するなど、事業費の圧縮に努めてきました。



基本設計事業者からの説明

新庁舎建設の設計については、今回策定した基本設計をもとに、設計事業者の(株)楠山設計との協働のもと、実施設計を行っていきます。町民アンケートやパブリックコメント、説明会等でいただいたご意見を踏まえながら、更なる費用圧縮をはかり、引き続き検討を進めていきます。



新庁舎建設実施設計を開始しました

新庁舎建設基本設計の終了を受け、設計事業者の(株)楠山設計との協働のもと、建設実施設計を開始しました。実施設計においては、機器の設置位置、設備種類、内外装等について詳細を決定し、建築確認用の図面を作成し、今年度中の建築確認終了を目標に検討を進めていきます。